



株式会社

ホリデー 高等学校



はじめに

2007年度、全国の大学入学定員と高校卒業生の数が同じに増減し、大学入学時代がやってきます。しかし、受験者中一部の人は大学に合格し、経済力の乏しい大学は淘汰されていくことが予想されます。

さらに、大学だけが美しい時代ではないのです。高等学校も少子化の流れに巻き込まれ、合併、分校化、廃校と教育者の再編成が進んでいきます。

早急に現在、日々高校生のためのキャリア人生を真っすぐ歩める機会のある学校が必要と求められ、本人がキャリアアップ高校生活が「エリート」を意味に増やしている認識が必要とされています。

自分の将来の夢を持って、毎日楽しくてしょうがない高校生活、心も体もキャリアにしてくれる高等学校。

企業が求める人材と異なり、株式会社と内閣にしてみました。

君は、
＋ 思考？

7777

それとも、
－ 思考？

7777

不安だらけの将来。 夢が持てないのはなぜ？

「ニート」って？

ニートという言葉が立派・行政・マスメディアを中心に話題化しています。英訳はNot in Employment, Education or Trainingの略で、「働いていない、学校授業に行っていない、そして就労に向けた具体的な動きをしていない」状態を指します。現在、日本に約400万人に分類される若者の数は約100万人と推定されています。ニートは徐々に増加化しています。

「ヤンキー型」

反社会的で事業的。「今が楽しければいい」というタイプ



「ひきこもり型」

社会との関わりを断ち、こもってしまうタイプ



「立ち去り型」

就職を前に考え込んでしまったり、行き留ってしまうタイプ



「ワフワフ型」

いったん入社試験したものの早々に辞め、自信を喪失したタイプ



失業の理由

需要がない...経済状況・産業構造の問題
【左の図のミスマッチ】

景気回復しかない！

ミスマッチ...「技能・知識の問題」
【右の図のミスマッチ】

能力開発してやらないと！

2. 希望するものがない・何をしたいのかわからない
【この図のミスマッチ】

若者全体への支援ではなく、
あくまでもその人、
個人への支援

バーチャルな情報ではなく、
自分で足を運び
五感で実感する

夢の持てる教育をしよう！！

ボジティブ高等学校

入学案内

特徴

「ボジティブ高等学校」は東京ドーム2.3個分の広大な敷地の中心に、社会ビルを中心とする小さな街が構築されています。それぞれの出資企業が社会ビルの各フロアを受け持ち、授業を展開しています。また、本校ではホームルームはありませんが、生徒一人一人に企業担当者が付く、個人への支援を実施しています。入学者には、ノートパソコンと携帯電話が支給されます。授業の出発や敷地内で買い物すべて携帯電話を使用するようにしています。また、交通網や学校もほぼ敷地内完全無接続を実現します。敷地内の企業でアルバイトも可能です。

1年次の1学期は、一週単位の企業が展開する集中講座の授業を順番に受講していきます。自分の適正と授業の華を実践化していく第一歩なのです。

夏休み分、自分の希望する会社の海外支店に見学に行き、異文化体験と語学の勉強をします。

2学期になると、敷地内にある各出資企業が展開する支店に、1学期同様、一週単位のインターンシップに行き、パーフェクト体験で、自分の五感で実感してもらいます。3学期は、選考後の決定です。本校では1年次に選考を決定し、残り2、3年生で専門教科の学習を繰り返します。自分が何をしたいか1日1分かつらり人も、安心して入学できます。関連企業も営業すると、彼の中のあらゆる仕事が可能になっています。

2年次分、選択した企業に入社します。つまり、学生ではありませんが、社員となります。高度少人数ながらも福利が充実のため、学習に充てられます。技術・技能の継承を受けながら、自己の能力開発を目指します。経済的心配をすることなく、自分勝手に専攻できます。

3年次分「ボジティブ大学」進学を目指すか、出資企業関連会社に就職するかを選択し、社会人としての知識と経験を学習します。

この敷地内で生活すること自体が楽しく、また、社会勉強になるのです。

学校概要

業界に貢献する日本の大企業が共同出資し、「明日の我が国を豊かに築く人材の育成」を目標に設立した、専門高等学校である。

出資企業

国土交通省（自動車製造・販売）	心二半製薬（製薬）
自動車工業（造船）	物化製薬（医薬品）
二重交通（運輸）	信託銀行（金融）
株式会社（コンピューター）	興業（スポーツ）
印刷ハウス（印刷）	体育建設（建設）
印刷製薬（製薬）	興業グループ（スーパー）
林業産業（石油）	北野ホテル（ホテル）
大手銀行（銀行）	総合建設（建設関係）

学校案内図





終わりに

「株式会社立ホジティブ高等学校」に入学したく
なりましたか？

僕たち高校生は、3年生になると進路を決定しな
なくてはなりません。しかし、現実には将来の夢に向
かって一生懸命努力する人、何をしてもいいのかわか
らぬ立ちまわりの人、何も考えない人、さまざまです。
個性も、環境も、発達も個人差があるのです。

自分の将来を見据えて精神的に発達するために
は、

- 自分がどういう人間かを知り、その存在を自らが
受け入れること。

- 周囲の状況が変化しても「自分は自分だ」という
確信に持続性・連続性があること。

- 自分がいる社会を認めて、また社会からも自分が
認められるように努力すること。

が大切だと思います。ところが、将来の決定を先送
りにする人のせんと多いことでしょう。

「ホジティブに定まる」ことがストレス社会の中
で弱ばたいて行く大切な言い言葉だと思います。

企業は、人材を育成していく義務があると思いま
す。それを受け継ぐ権利が我々高校生にはあります。

「ニート」や「フリーター」が増えたり、働くこと、
学ぶことが楽しい社会や学校ができることを期待し
ます。

